

平成23年3月期 中間決算概要

連結決算概要（経営成績）について

(単位:億円)

区 分		H22/9 当中間期 実績	H21/9 前年中間期 実績	今回 通期見込 2	H22/3 前年通期 実績	当初 通期見込 (H22.6.11)
営業収益	高速道路事業	3,601	3,135	7,118	7,938	6,862
	料金収入(補填額含む)	2,800	2,662	5,542	5,262	5,267
	(うち料金収入のみ)	(2,620)	(2,655)	(5,043)	(5,251)	(5,267)
	道路資産完成高	793	463	1,564	2,664	1,594
	その他	7	9	11	11	0
	関連事業	247	347	511	741	499
	SA・PA事業 ³	135	132	257	252	253
	その他の事業 ⁴	111	214	253	489	246
		3,848	3,482	7,629	8,680	7,362
営業費用	高速道路事業	3,510	2,978	7,103	7,876	6,845
	道路資産賃借料	1,923	1,796	3,877	3,676	3,510
	管理費用	793	718	1,662	1,535	1,739
	道路資産完成原価	793	463	1,564	2,664	1,594
	関連事業	209	311	473	673	459
	SA・PA事業 ³	94	93	196	177	200
その他の事業 ⁴	115	218	276	496	259	
		3,720	3,289	7,576	8,549	7,304
営業利益	高速道路事業	91	156	14	62	17
	関連事業	37	35	37	67	40
		128	192	52	130	57
経常利益		134	201	66	160	49
中間(当期)純利益		75	99	84	67	30

- 1 当社グループは、当社及び子会社19社、持分法適用の関連会社5社で構成されており、高速道路事業、SA・PA事業、その他の事業を行っております。
- 2 「今回通期見込」欄の業績予想は、将来見通し、計画の基となる前提、予測を含んで記載しており、実際の業績は今後、様々な要因によって、予想数値と異なる場合があります。
- 3 高速道路のサービスエリア(SA)・パーキングエリア(PA)で行う物販・飲食等の事業をいいます。
- 4 受託事業、駐車場事業、コンサルティング事業及び収益還元事業等の事業をいいます。

高速道路事業トピックス

- 当中間期における高速道路の通行台数は、景気の緩やかな回復や新規開通、高速道路無料化社会実験（平成22年6月28日開始）などにより、前年同期比115.9%となりました。
 - 営業収益のうち、国からの補填額を含む高速道路料金収入は、景気の緩やかな回復や新規開通などにより、前年同期比137億円増の2,800億円となりました。
 - 一方、営業費用のうち道路資産賃借料は、機構への支払い額が増加し、前年同期比127億円増の1,923億円となりました。
 - また、管理費用は、舗装補修や橋梁・トンネル剥落対策などを行い「100%の安全・安心」への取組みを推進したほか、高速道路無料化社会実験に伴う費用などにより、前年同期比74億円増の793億円となりました。
 - 以上のことなどから、当期における高速道路事業の営業利益は、前年同期比65億円減の91億円となりました。
 - 通期における高速道路事業の業績は、当中間期における通行台数の伸びが下半期も継続し、料金収入は増加すると予想しておりますが、引き続き「100%の安全・安心」に取り組んで行くことから、営業利益は前期比47億円減の14億円を見込んでおります。
 - 当中間期における道路資産完成高¹は、阪和道（海南インターチェンジ～有田インターチェンジ）の4車線化（下り線側2車線運用の開始）や東九州道（高鍋インターチェンジ～西都インターチェンジ）の開通などにより、前年同期比329億円増の793億円となりました。
 - 通期における道路資産完成高は、岡山道（岡山総社インターチェンジ～賀陽インターチェンジ）の4車線化や東九州道（門川インターチェンジ～日向インターチェンジ）の開通はありますが、前年の第二京阪道路のような大規模事業の開通がないことから、前期比1,100億円減の1,564億円を見込んでおります。
- 1 道路資産完成高は利益を含まず、道路建設に必要な経費そのままに機構に引き渡すことから、道路資産完成原価と同額となります。

関連事業トピックス

- 当中間期におけるSA・PA事業の営業収益は、通行台数の増加はあるものの、前年活況であったシルバーウィークの休日が本年は分散化し、店舗売上高は微増(前年同期比100.6%)にとどまったことなどから、前年同期比2億円増の135億円となりました。
- 一方、SA・PA事業の営業費用については、前年同期比1億円増の94億円となりました。
- 以上のことなどから、SA・PA事業の営業利益は、前年同期比1億円増の40億円となり、関連事業全体では、前年同期比1億円増の37億円となりました。
- 通期における関連事業の業績は、SA・PAをご利用いただくお客様の増加に対応するユニット式トイレの設置に伴う清掃、お客様収益還元事業²の積極的な推進など、お客様サービスの向上に資する取組みを引き続き実施することから、営業利益は前期比30億円減の37億円を見込んでおります。
- なお、当社の維持管理ノウハウや技術力を最大限に活かして地域への貢献を果たすため、本年7月7日に「芦有ドライブウェイ」の株式を取得し、一般自動車道事業に参画しました。
- また、グループにおける総合的な運営によりSA・PA事業のお客様サービス向上を図るため、本年11月30日に当社の100%出資子会社である西日本高速道路サービス・ホールディングス株式会社がPA店舗運営会社3社の株式を取得しました。

2 お客様収益還元事業では、専門業者によるSA・PAのトイレの特殊清掃、携帯電話・PCを使った情報提供ツールである「i Highway (アイハイウェイ)」の充実、また、社会とのコミュニケーションを通じて100%の安全・安心の追求を目指す「DRIVE & LOVE」プロジェクトなどを実施しております。

決算値の季節的変動

- 高速道路事業においては、気候が良いことや長期休暇が多いことなどから、料金収入は上半期のほうがより多くなる傾向があります。
- 他方、冬期における交通を確保するための雪氷対策などにより、上半期よりも下半期に費用が多くなる傾向があります。
- このため、上半期と下半期の業績には下記のような季節的変動が生じ、結果として上半期と下半期の営業利益を比較した場合、上半期の値が大きくなる傾向にあります。

(単位: 億円)

区 分	上半期(実績) (A)	下半期(見込)	合計(見込) (B)	上半期比率 (A/B)
営 業 収 益	3,848	3,780	7,629	50.4%
高速道路事業	3,601	3,516	7,118	50.6%
うち料金収入	2,620	2,422	5,043	52.0%
関連事業	247	263	511	48.4%
営 業 費 用	3,720	3,856	7,576	49.1%
高速道路事業	3,510	3,593	7,103	49.4%
うち管理費用	793	868	1,662	47.7%
関連事業	209	263	473	44.3%
営 業 利 益	128	75	52	243.6%
高速道路事業	91	76	14	612.1%
関連事業	37	0	37	98.7%

下半期及び合計の額は、将来見通し、計画の基となる前提、予測を含んで記載しており、実際の業績は今後、様々な要因によって、予想数値と異なる場合があります。

【参考】個別決算概要（経営成績）について

(単位:億円)

区分		H22/9 当中間期 実績	H21/9 前年中間期 実績	今回 通期見込 ²	H22/3 前年通期 実績	当初 通期見込 (H22.6.11)
営業収益	高速道路事業	3,596	3,129	7,111	7,932	6,862
	料金収入(補填額含む)	2,800	2,663	5,543	5,263	5,267
	(うち料金収入のみ)	(2,620)	(2,656)	(5,043)	(5,252)	(5,267)
	道路資産完成高	793	463	1,564	2,664	1,594
	その他	2	3	4	4	0
	関連事業	138	251	299	548	302
	SA・PA事業 ³	54	55	105	105	105
その他の事業 ⁴	84	196	193	442	196	
		3,735	3,381	7,411	8,480	7,165
営業費用	高速道路事業	3,514	2,980	7,111	7,894	6,845
	道路資産賃借料	1,923	1,796	3,877	3,676	3,510
	管理費用	797	720	1,670	1,553	1,739
	道路資産完成原価	793	463	1,564	2,664	1,594
	関連事業	123	233	290	513	283
	SA・PA事業 ³	31	33	68	60	70
その他の事業 ⁴	92	199	221	453	213	
		3,637	3,213	7,402	8,408	7,128
営業利益	高速道路事業	82	149	0	38	17
	関連事業	15	18	8	34	18
		98	167	8	72	36
経常利益		107	172	20	88	18
中間(当期)純利益		63	81	13	26	11

【参考】連結・個別決算対比について

(単位:億円)

区分		当中間期 (H22/4～H22/9)			今回通期見込 ² (H22/4～H23/3)		
		連結 (A)	個別 (B)	連単倍率 (A/B)	連結 (A)	個別 (B)	連単倍率 (A/B)
営業収益	高速道路事業	3,601	3,596	1.00	7,118	7,111	1.00
	料金収入(補填額含む)	2,800	2,800	1.00	5,542	5,543	1.00
	(うち料金収入のみ)	(2,620)	(2,620)	(1.00)	(5,043)	(5,043)	(1.00)
	道路資産完成高等	801	796	1.01	1,575	1,568	1.00
	関連事業	247	138	1.78	511	299	1.71
	SA・PA事業 ³	135	54	2.49	257	105	2.44
その他の事業 ⁴	111	84	1.32	253	193	1.31	
		3,848	3,735	1.03	7,629	7,411	1.03
営業利益	高速道路事業	91	82	1.11	14	0	45.64
	関連事業	37	15	2.37	37	8	4.41
		128	98	1.31	52	8	5.92
経常利益		134	107	1.25	66	20	3.34
中間(当期)純利益		75	63	1.20	84	13	6.35

- 1 当社グループは、当社及び子会社19社、持分法適用の関連会社5社で構成されており、高速道路事業、SA・PA事業、その他の事業を行っております。
- 2 「今回通期見込」欄の業績予想は、将来見通し、計画の基となる前提、予測を含んで記載しており、実際の業績は今後、様々な要因によって、予想数値と異なる場合があります。
- 3 高速道路のサービスエリア(SA)・パーキングエリア(PA)で行う物販・飲食等の事業をいいます。
- 4 受託事業、駐車場事業、コンサルティング事業及び収益還元事業等の事業をいいます。